

会 議 録

会議名		平成30年度第5回図書館協議会	
事務局		図書館	
開催日時		平成31年3月29日（金）午後2時～4時15分	
開催場所		図書館本館 地階 集会室	
出席者	委員	田中会長、藤森委員、鴨下委員、石田委員、水谷委員、坂野委員、中里委員	
	欠席者	森川委員、長田委員、吉田委員	
	事務局	菊池館長、碓井庶務係長、岡本奉仕係長、新井主事	
傍聴者の可否	可	傍聴者数	0
傍聴不可・一部不可の場合はその理由			
会議次第	<p>1 議 題</p> <p>(1) 図書館協議会の会議録の承認について</p> <p>(2) 意見シート（案）の設置について</p> <p>2 報告事項</p> <p>(1) 平成31年第1回小金井市議会定例会等報告</p> <p>(2) 平成31年度予算について</p> <p>(3) JR武蔵小金井駅周辺の図書返却ポストの移設について</p> <p>(4) 図書館本館階段室工事について</p> <p>(5) 蔵書点検について</p> <p>(6) その他</p> <p>3 その他</p> <p>(1) 平成31年度の図書館協議会の年間予定について</p> <p>4 配布資料</p> <p>(1) 平成30年度第3回小金井市図書館協議会会議録</p> <p>(2) 意見シート（案）</p> <p>(3) 平成31年度予算概要</p> <p>(4) JR武蔵小金井駅周辺の図書返却ポストの移設について</p> <p>(5) 平成31年度 図書館協議会 年間予定</p>		

平成30年度第5回小金井市図書館協議会

平成31年3月29日

【菊池館長】 皆さん、こんにちは。定刻になりましたので、始めさせていただきます。本日は、平成30年度第5回の図書館協議会です。年度末のお忙しいところ、ご参集いただきましてありがとうございます。

長田委員と森川委員からは欠席のご連絡をいただいております。

それでは早速、事務局から配付資料の確認をさせていただきます。

【碓井庶務係長】 それでは、本日の配付資料につきましてご説明をさせていただきます。

(資料確認)

皆様、漏れ等ございませんでしょうか。よろしいでしょうか。

以上で資料の確認を終わらせていただきます。ではよろしく願いいたします。

【菊池館長】 田中会長、会議の開催をよろしく願いいたします。

【田中会長】 それでは、平成最後の会議になりますけれども、第5回小金井市図書館協議会を開催させていただきます。

議題、報告事項、その他とありますけれども、今日はこの次第に沿ってやっていきたいと思っております。よろしいでしょうか。

それでは、議題1から始めたいと思っております。最初に(1)図書館協議会の会議録の承認についてということで、事務局からお願いいたします。

【碓井庶務係長】 会議録につきましてご説明いたします。本日は第3回協議会のものの最終案をお手元にお配りさせていただいておりますが、そちらにつきまして、ご承認という形でよろしいでしょうか。

【鴨下委員】 校正をしたのですが、口語体で話をしているのがいけないのですが、「何々なんですね」とか、「うん」というのがとてもたくさんあって気になりました。例えば私のところで言いますと、11ページの上から3行目の「形になるんでしょうかね」というようなのは、やはり文語体でいうと「形になるのでしょうか」となりますよね。そういう箇所がたくさんありまして、私は多いのですが、ほかの方もそういうところがありますね。私のところは多分校正のところ、ここは削除というふうに出したと思うので

すけれども、削除になっていないのですが、これは許容ということで残してあるのでしょうか。

【新井主事】 いただいた部分については直したと思っていたんですけれども、もし漏れがあるということでしたら、申し訳ございません。もう一度確認させていただきたいと思います。

【鴨下委員】 個人が申告した部分については直している。

【新井主事】 はい。ご指摘のあった部分を反映しています。

【鴨下委員】 では私のところは少し落ちているので、それは落ちてしまったということになる訳ですか。

【新井主事】 申し訳ございません。

【鴨下委員】 もう一度見ていただけますか。お願いします。

【新井主事】 はい。

【碓井庶務係長】 申し訳ございませんでした。

【坂野委員】 少し意見を言わせていただきます。全文というか、しゃべったことを全て記録するということは了解していますが、後ろのほうの内容で、視察の検討、三者合同会の講師の話、図書館大会の話というのは、本当にしゃべったまま書かれているんですが、これはこれでいいんでしょうかね。各事項をきちんとした評価をし議論するとか言うんだったらよろしいですし、それで、ご覧いただければわかりますけども、その場の参考としてしゃべっているようなものまで全て、しかも個人情報と言ったら極端ですけど、講師の方にも及んでいる記録が残っているというのは、この図書館協議会の記録という部分を超えていないかと少し思います。なので、委員の方々にお諮りしたいんですが、しゃべったこと全部なのか、そうはいつでも視察の検討とか、三者合同会の紹介ですとか、あるいは図書館大会の案内まで一言一句記録する必要があるのか。

「科学の祭典」については一番最後のところで題目のみ記載して括弧でくくってありますでしょう。それは話題が図書館協議会に直接は関係ないのでそれはそれでいいと思うんですが、そんな例もあるので、何か本題ではないあるいは本題とちょっと外れるような情報や議論については簡略化するということはできないか、あるいはすべきじゃないでしょうか、ご意見をお伺いしたいんですが。いかがでしょうか。

【田中会長】 事務局はどうですか。

【菊池館長】 全文記録ということで、最初にご承認いただいて書いています。皆様に

校正をお願いしている中では、ここは簡略化したほうがいいのではないかというお話がなかったもので、今回このようになっています。

あと、あまり校正してしまうと、全文というところが中々難しいので、私自身しゃべったところも、この言葉でよかったのかしらと思うところもあるんですけども、あまり直さずにそのまま置いてあります。

【田中会長】 いつも私、このことについては意見を言っているんですけども、全文を載せるということに対して、いかがなものかなとこの会を始めたときから思っている訳です。と言うのは、これに対する時間とその労力というか、ものすごい時間がかかる訳じゃないですか。既に半年ぐらいたっているものが今、ここに現在出てくるということなので、僕としてはやはり要点筆記とか、大事なことだけが記載されていればいいんじゃないかなとは思っています。市のやり方として全文でやるんだという、それを公開していくということなんですが、そこまで必要があるのかなといつも思うんですね。大切な議論の中身がきちんと把握されていて、ここが問題点で、ここでこういう意見があつて、で、こういうふうになったというのであれば良くて、そうすると、余計なものが結構省けて、逆にすっきりとして市民の皆さんに伝わるんじゃないかなとずっと前から思っている次第です。

【菊池館長】 会議録のとり方をどうしますかということは、その期の図書館協議会で確認をしていきますので、この期は全文記録ということになっています。

【田中会長】 では、この件はこれでよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

【水谷委員】 すみません。結論として、今回のものはもう一度校正が入ることですか。

【菊池館長】 この会議録で、鴨下委員から、自分が直したところが直っていないというお話がありましたので、そこについてはこちらでもう一度確認をして、ほかの委員の方はみんなこちらでよろしいということでしたので、それはもう決めさせていただくという形でよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

【菊池館長】 ありがとうございます。

【田中会長】 では、そういうことでお願いいたします。

それでは、議題(2)の意見シート(案)の設置についてということで、これも事務局のからお願いいたします。

【碓井庶務係長】 それでは、意見シート（案）につきましてご説明させていただきます。

本件につきましては、10月に本協議会において一度ご議論いただきましたが、その際に委員の皆様から頂戴しましたご意見を元に、シートの書式、取り扱い等につきまして事務局で再検討させていただきました。

本日机前にお配りさせていただきました修正案ですが、メールにてお送りさせていただきました内容に、委員の方からのご意見をいただいて、一部修正させていただいております。修正箇所にアンダーラインを引いてございますので、そちらでご確認をいただければ幸いです。

10月の協議会の際に、水谷委員よりお話をいただきました、子ども・子育て支援会議の場で傍聴席に設置させていただいているものを参考に、こちらの案を作成させていただきました。前回お示しした案からの修正点といたしまして、傍聴者の方が氏名・住所等を記入する欄を削除いたしました。このことにより、シートの重みというのが適切な言葉かわからないですが、みたいなものを見直させていただくと共に、協議会委員の方と傍聴者の方との立場の違いを明確にさせていただき、委員の皆様にかかるご負担についても考慮させていただきました。

次に、シートの取り扱いについてご説明させていただきます。傍聴者の方から頂戴しましたシートにつきましては、事務局にて回収の上、内容を確認させていただきます。その上で、協議会と特段関係のない、図書館に関するご意見やご要望、または広く市政に関するご意見につきましては、事務局内部で処理させていただき、今後の図書館運営の参考とさせていただきます。また、協議会そのものに関するご意見につきましては、いただきましたシートの写しを、資料としてではなく参考として、委員の皆様にお送りさせていただきます。

事務局案につきましてのご説明は以上です。

次回以降のシートの取り扱いにつきましては、事務局としましては、この案で次回の協議会より設置をいたしたいと考えておりますので、本日この場において委員の皆様のご意見をお伺いさせていただきたいと考えております。よろしくお願いたします。

【田中会長】 ありがとうございます。

この意見シート（案）について、今、事務局から説明がありましたけれども、何かご意見等ありましたら、発言をお願いいたします。

【坂野委員】 実際はどういう意見が出てくるか、まだわからない段階で言うんですけども、これはこの意見シートを書かれた方の属性が一切書かれない前提ですね。私の経験から言いますと、最低限欲しいなと思うのが、市内に住んでいるかどうかだけはわからないといけないような意見が出てくるのではないかと思っているんです。

委員の皆さんにお聞きしたいのは、属性ですね。意見を出された方の属性について、全くなしでいいのか、最低限これはというものが無いかどうか、ご意見をお伺いしたいですが。

私の意見では、市内か市外か、だけは必要ですね。どこでそう思ったかかというのと、武蔵野プレイスの1階壁際に「利用者の声」というのを貼ってあります。あの中で重要なのはどこに住んでいるかです。武蔵野市なら何々町まで書いてあるんですけど、当然小金井市も、三鷹市も、府中市からの「声」もありますので居住場所の記入があると結構見方が違ってくるといのが分かります。それで今、意見を申し上げます。

【田中会長】 今、ご意見がありましたけれども、何かございますか。

【水谷委員】 坂野委員に質問ですが、市内に住んでいるかどうかというのは、いわゆる市民というくくりに入るかどうかはわかればいいということですね。

【坂野委員】 そうです。

【水谷委員】 在住とか在勤、在学も含むという？

【坂野委員】 それらを含むでいいんですけど、狙いは、利用者の声というのは要するに大体が批判でして、何かできていないと言うときに、市外からちょっと来て自分の住む町のものと比較して、市内の者であれば市内の財政が苦しいとか色んなことがわかっているのに、これをやって欲しい、何でないのか、困るじゃないか、という方の意見を出される。ものの見方が少し違って来るんですね。だから、記載者の市内と市外の区別だけは教えてほしいなと思います。ただ、どんな意見が出てくるかは、今現在全くわかりません。

【石田委員】 私も市内に在住か在勤か、確かにそれくらいは丸方式で書いていただいたほうが、あまり乱暴な意見が少しは控えられるのではないかなという気がします。

【田中会長】 どっちでもいいような気がするんですけど、私は。と言うのは、辛辣な意見が出てこようが、いい意見が出てこようが、その意見というものを吸い上げて、どうするかというのはこちら側の判断なので、それはそれでいいんじゃないかなと思う。一回それは事務局に行って、そこで精査されて、それで図書館協議会に関わる問題であるとか、

図書館でこれは協議会で話してもらいたいというものがここにかかってくる訳なので、一回フィルターを介しながら協議会に戻ってくるということなので、色んな意見があってもいいかなと思います。ですから、小金井市に住んでいらっしゃるとか、ここで勤めていらっしゃる方だというのはあってもいいと思うし、だから逆になくてもいいのかなという気もしますけど。あったほうがいいというのであれば、それはつけ加えてもいいんじゃないのかなと思います。

【藤森委員】 館長にお聞きしますが、1年間に何人くらいの方が傍聴されますか。

【菊池館長】 そんなに多くの方はいらっしゃらないですかね。多くて4人くらいですか。

【石田委員】 昨年、何か小金井市の方針をする時に4人くらいいらっしゃいましたね。あんまりいないんですよ。

【田中会長】 年間5回やって10人はトータルいないくらいじゃないですかね。協議会、傍聴に対しての意見ですからね。図書館とか、そういう公共施設に対する意見では。

【石田委員】 意見ではないですからね。

【田中会長】 非常に限定されているとは思いますが。

【中里委員】 様式の変更は可能ですか。

【菊池館長】 元々お出ししていたものが、こちらとまた違う形で、そもそも市で今、参考として基本のひな形、こんな形でというのがあって、それを元にお出ししたところがありますので、そこは協議会で協議の上で決めて構いませんので、大丈夫です。

【中里委員】 傍聴に来られた方もより良い図書館運営を望まれて多分書いてくださると、性善説をとりたいと思うのですね。そうしましたら、その経緯を見つつ、様式を変更するとか、あるいは前の期の時に、答申を出すような時に、大分傍聴がにぎやかだったこと等もありますから、取り扱いがとても手に余るようなことが生じれば、その時々運営がスムーズに行くいい方法を模索していけばよろしいですよ。そういう形でしたら、参考として意見を回していただければと思います。

【田中会長】 では、この件は意見シートに、坂野さんが言った、在勤、在住？

【菊池館長】 在住、在勤、その他ですか。丸をつけていただくという。

【田中会長】 その欄を、欄というか、どこかにつけてもらって、出してください。そういうことでお願いいたします。よろしいですか。

(「はい」の声あり)

【田中会長】 それでは、2の報告事項に入りたいと思います。(1)平成31年第1回小金井市議会定例会等報告と、(2)平成31年度予算についてというのがリンクしているということなので、(1)と(2)を一緒にまとめて報告していただきたいと思います。

では、お願いいたします。

【菊池館長】 それでは、平成31年第1回小金井市議会定例会報告と、合わせて平成31年度の図書館予算についてご報告をさせていただきます。

第1回定例会の会期は予定より1日延長となりまして、2月20日から3月27日までございました。会期中の厚生文教委員会及び一般質問では、図書館に対する質疑等はございませんでした。

なお、庁舎及び福祉会館建設等調査特別委員会に付託されておりました陳情が1つございまして、市庁舎の建設面積を縮減することにより図書館本館の建設を進めることを求める陳情書は、不採択となっております。

続けて、予算特別委員会のご報告をさせていただきます。その前に31年度の図書館費について先にご説明いたします。配付資料のA4、1枚の平成31年度予算概要を…。

【坂野委員】 その前に議会の質問をいいですか。

【菊池館長】 まだ議会関係が続きます。

【田中会長】 まだ議会の。

【坂野委員】 では、予算関係の質問ですので後にします。

【菊池館長】 はい。予算概要(図書館関連)をご覧ください。平成31年度の当初予算は、図書館費総額が1億8,763万円でございます。今年度の当初予算が1億5,422万8,000円でしたので、3,340万2,000円の増となっております。22%増です。

主な予算項目でございしますが、予算増となった部分についてです。

(1)図書館事業に要する経費としまして、①パーソナルコンピューター借り上げ料の部分、こちらは貫井北分室に設置する利用者用のインターネット端末に関わる経費です。②図書標本類、図書費の部分ですけども、こちらは小学校へ貸出をしている団体貸出をパック化するための図書費が増額となっております。③④は図書館システム関連になります。平成32年4月末に図書館システムのリース満了に伴い、入れ替えを予定しています。新システム選考等の準備を平成31年度から行う予定があるため、31年度の支出はありませんが、今後の経費の裏づけとしまして31年度予算書に載っているものでございます。

この図書館の当初予算につきまして、予算特別委員会で6人の方からご質問がございましたので、ご報告いたします。

お一人目、小林委員からは2つありまして、1つ目は、平成31年度に貫井北分室に利用者用インターネット端末を1台設置することについて、ほかの分室にも増やしていかないかというご質問でした。2つ目は、図書館運営方針に、現施設で不足している機能・規模という面から中央図書館の例として何パターンか載っているが、貫井北分室のような分室をいくつか建てるということも考えられるのではないかと、市として中央図書館についての考え方を示す必要があるのではないかとというご質問でした。

答弁としましては、インターネット端末については、導入経過を見ながら今後については検討していきたい。また、(仮称)中央図書館については、大規模施設の図書館という考え方もありますが、自宅から歩ける範囲に図書館が欲しいというお声もありますので、図書館は施設ではありますが、図書館ネットワークで機関として市民サービスを提供できるように今後考えてまいります、とご答弁しています。

お二人目は河野委員からです。緑センター委託の状況について、公民館と合わせてご質問がございました。図書館としましては、運営方針にも、分室についてはさらなる市民協働・公民連携の推進を図り図書館サービスの向上に努めていくことが望ましいとの方針を出していますが、現段階で具体的にお示しできるところまでには至っておりません、とお話ししてございます。

3人目は宮下委員からです。ICタグを導入する経費が計上されていないことについて、導入タイミングは図書館システムの更新時期だと思うが、なぜ計上されていないのかというご質問でした。答弁としましては、ICタグシステムのメリットは利用者・図書館ともに多々ありますが、導入経費がかなり高額となることから、費用対効果を見ながら、今後とも検討を進めていきたい、とお答えしています。

4人目は水上委員です。中央図書館の見通しが不明な中では、今ある施設でサービスの拡充に努めていく必要があると思うが、まだ連携できていない近隣市とはどうなっているのか、また、市内で図書館が弱い地域へのサービスはどうしていくのか。これに関連して、紀委員からも障害のある方へのサービスの拡充についてご質問がございました。ご答弁としては、他市との連携については、市民から要望の多い自治体には継続的に依頼をしているところですが、実現には至っておりません。また、図書館サービスが弱い地域についても、貸し出し・返却等ができるような場所を検討していきたい。障害者サービスについて

は、現在要綱を改正中であり、宅配サービスの拡充に努めていく方向です、とお答えしています。

最後は片山委員からです。団体貸出パックは図書館が独自で考えたのかというご質問でした。答弁としましては、今の方法ではお借りになる保護者の方のご負担が多くなっていること、また、図書館側も蔵書構成のバランスを保つのに苦慮していること等の理由から、これらを解決するために、また、より拡充していくために、団体貸出パックの作成に着手した経過をご説明いたしました。

平成31年度一般会計予算は本会議で可決をされています。

議会報告は以上になります。

【田中会長】 ありがとうございます。ご質問、ご意見等ありましたら、お願いいたします。

【坂野委員】 いくつかありますので、一問一答で結構です。

第1回定例会じゃなかったかと思えますけども、議員さんから新図書館で42億円という数字が上がっていますよね。その議論は記憶にないですか。42億円というのはこの協議会では全然ご説明を受けていません。何で見たかというと、市内各家に配布される『市議会だより』で、吹春議員の欄に42億円というのがはっきり書いてあったんですよ。新しい図書館建設で42億円という数字が。私が知りたいのはその算出根拠でして、その42億円という数字がいきなり出てきたので、ここで確認したいなと思った次第です。

図書館長、ご存じないですか。

【菊池館長】 第1回のこの定例会では、私から特にご答弁はしていません。

【坂野委員】 そうですか。勘違いでしたら申し訳ないですけど、そうやって小金井市の全世帯に配られたものに載っていましたので、これはぜひ確認してください。

【菊池館長】 はい。確認してみます。

【坂野委員】 もし42億円とそれに基づく批判が出ているのなら、その根拠を知りたいということです。42億円って、見て驚いたんですよ。相当な広さ、相当な設備のもので、それが何で議員さんから先に出てくるんだろうなと思った次第です。

それから、予算のこの1枚物についていくつか質問があります。予算の額ですけども、指定管理者に払っている金額、これについての増減はありますか、内訳で。

【菊池館長】 指定管理はしていませんので、ございません。

【坂野委員】 NPOに払っているあれは。

【菊池館長】 委託料です。

【坂野委員】 委託料の予算はどうなっていますか。

【菊池館長】 はい。委託料は公民館費になっていますので、図書館が持っているのは、図書費と図書館システムになります。

【坂野委員】 ということは、図書館長側としては、その金額について意見を言うこともしない訳ですか。

【菊池館長】 意見といいますか、調整はさせていただくことはありますけども。

【坂野委員】 調整はあるけども、金額について増やしてほしい、減らしてほしいですかという手続きにはなっていない？かつ、このいただいた表の予算額には委託料が一切入っていない？ということですか。

【菊池館長】 はい。図書館費なので入っていないです。

【坂野委員】 なるほど。わかりました。

では別の質問です。予算概要の中で、コンピューターの借り上げというのが①のところにありますね。これは所有ではなくてパーソナルコンピューターの借り上げですが、これはなぜ所有しないのか。この金額だと所有したほうが安いようにも思ったんですが。

【碓井庶務係長】 パーソナルコンピューターの借り上げについて、坂野委員にご指摘いただきましたとおり、購入したほうが安いのではという、ご指摘ですけれども、今、小金井市がやはり毎年度、役所の予算で単年度会計になっておりまして、購入すると、確かにトータルとしてコストは安いんですが、その単年度に負担が来てしまうというところで、その特定の年度の予算がこうなるということに対して、中々柔軟に今の市の財政状況からして対応が難しいというところがございます。これはパーソナルコンピューターに限ったことではないですけれども、基本的に借り上げできるものについては借り上げるという方向性が今強いというのが実情としてございます。

【坂野委員】 ちなみにこの17万9,000円というのは何台分の借り上げ料？

【菊池館長】 1台です。

【坂野委員】 1台。ものすごく高いですね。わかりました。

それでは、次の質問に移ります。館長のご説明の中で、小林委員に対する答えとして、導入の経過を見てPCを他の部屋に置く云々ということでしたが、聞き間違いでなければ、導入の「経過」の状況のご説明を…。

【菊池館長】 経過。

【坂野委員】 「経過」とおっしゃっているんですよね。これはどういう意味ですか。

【菊池館長】 もっと増やしていかないかというご質問でしたので、本館に1台あります。貫井北にも今度1台置きます。この1台置いたことによって、さらにもっと置いてほしいですとか、利用が急増したりとか、要望があったりとかしたことに鑑みて、今後ほかの分室にも置いていくかどうかを考えていくということです。

【坂野委員】 わかりました。本館のパーソナルコンピューターは使いたいですけども、本館に行ったら誰かすでに使っているという状況なんですね。要するにたまたま使っている方がいらっしゃるというので使えないことが結構あるんです。だけど使うニーズはあるということですから、その導入の「経過」というよりも、重要なのは導入の「意向」の把握ですよ。使えるものなら3時間でも4時間でも使いたいですけども空きが少ない上に30分、30分で2回しか使えませんから、PCがほかの分室にあることは非常に助かる。そういう声をしっかり拾い上げて決めていただければなど利用者の側から申し上げておきます。

もう1つ。「団体パック」のお話ですが、すいません、「団体パック」ってよくわからないので、もう少しご説明いただけませんか。

【岡本奉仕係長】 今、学級文庫に対して児童室から本を1学期当たり1クラス、1団体100冊まで貸し出しております。ただ、その貸し出しに当たっては、借りに来る日の予約をとったり、保護者の方が書架から100冊を選んで借りていくとか、色々な作業がございまして、その辺手間がかかるという声もいただいている反面、図書館としても毎学期、団体貸し出しをしているんですけれども、団体貸し出しが1回終わると、8,000から9,000冊ぐらい2階の児童室の書架から本がなくなっていくんですね。

そうすると、例えば、きれいな本ばかり学校に流れてしまうとか、実際、図書館に来てみると汚れた本しかないとか、あと、ある一定の分野の本だけ貸し出しが集中して、その書架の本がなくなってしまうという、蔵書構成のバランスを維持するのが難しかったりします。その辺を解消する手段として、こういった団体貸し出し用に箱詰めした本を希望する団体には貸したらどうかということで、今年9クラス分お試しで実施したんですけれども、好評をいただいたところでしたので、今年予算要求をさせていただいたところです。

ここに書いてあるクラス分の予算はついたということで、今までどおり書架から100冊選びたいという方がいらっしゃれば、それは無理にこちらのパックをお借りいただく必要もございませんので、そのあたりは柔軟に今後に対応していければなとは思っていると

ころです。パックの貸し出しが増えていけば、書架から抜かれる本も少なくなりますので、蔵書のバランス等も今後は維持しやすくなるのかなと考えているところでございます。

【坂野委員】 そうすると、片山委員にはそのような趣旨でお答えになったということ？

【菊池館長】 そうです。

【坂野委員】 そうすると、片山委員の質問が、「団体パック」は誰の発案かという趣旨だったと聞いたものですから。

【菊池館長】 図書館で勝手に判断してパックを作り始めたのではないかというご質問でしたので、ご意見を伺いながら作っていますというところでお話しました。

【坂野委員】 意見を聞くというのは、それは保護者の方の？

【菊池館長】 そうです。

【坂野委員】 わかりました。ありがとうございます。以上です。

【石田委員】 陳情書が出されましたと言いましたよね。どの団体から出されたんですか。団体というか、どの方から。陳情書というのだから、団体だと思うんですね。議員連盟とか何か。例えばこの協議会で図書館の本館を早くいいものを作ってくださいという陳情をするならばわかるんですけど、どこが出したのかなど、少し。

【菊池館長】 陳情者の団体は、市民団体こがねい情報公開市民会議というところから出ています。

【石田委員】 それはこがねい情報…？

【菊池館長】 こがねい情報公開市民会議です。

【石田委員】 代表者、例えば、議員ですか、一般市民ですか。陳情ですからね。誰か代表者はいますよね。

【菊池館長】 そうですね。その団体の名前が、市民団体こがねい情報公開市民会議、事務局長の方のお名前が高木章成さんです。

【石田委員】 わかりました。ありがとうございます。

【中里委員】 お話が戻るんですけども、質問で、すみません、こんなことをまだ知らなかったんですが、35冊が1パックで91クラス分は、35冊は全部同じものが入っているんですか、91個。

【岡本奉仕係長】 全部同じではないです。低学年、中学年、高学年向けのパックという形で作っていく予定です。

【中里委員】 そうしますと、学校図書相互貸し出し、大変いいシステムだと思うん

ですけれども、学校に提供するために図書館で本を購入しているという形になるんですか。

【岡本奉仕係長】　　そういう訳でもないですけれども、既存も学校に貸し出すためのこの団体貸し出しサービスというのがあります。それはわざわざ学校に向けて貸し出すために本を購入している訳ではないですけれども、今回のこちらについてはそうですね、図書館側から見れば、図書館の書架の蔵書構成や、保護者の方の手間を少しでも軽減するために、団体貸し出し用として本は購入する形となりますね。

【中里委員】　　高校で司書をしていらっしゃる方に聞いたことがあるんですけれども、一応月何百万というふうな予算が決まって、分野をカテゴリーで、例えば10万ずつとかいう形にして、高い本ならば、図録のようなものでしたら1冊しか買えないけれども、それから分野も決めて、図書分類法に従って満遍なく購入しているのが原則だと聞いたことがあるんですね。

　　そうしますと、こういうふうな形で選書をする、本の分野とか、あるいは予算的なものも偏ってくるという不安というか、傾向はないんでしょうか。

【岡本奉仕係長】　　今回のこちらの予算については、あくまでも新規でついた予算です。今まで、従前、過去の年度は図書費というのは一定確保されてきた部分がございます。ですので、図書館各館の書架に並ぶ児童書等のお金は一切変わりがなく、団体貸し出し用として今年度新規で丸々お金がついた状況でございまして、そちらについてはシステムの登録等はする予定ではございますが、一般貸し出し用という扱いにはならないので、図書館の蔵書構成等々には集計上入らないのかなと、今のところは考えております。

【中里委員】　　わかりました。

【水谷委員】　　今のところに関連して、91クラス分ということですが、前に私が、小学校1年生が全部で何クラスあるんですかと聞いたときに、29クラスとおっしゃったのですが、ということは、単純にそれを6倍すると、大体市内では180クラスあると考えて、そのうちの半分のクラスに貸し出すということですね、これは。

【鴨下委員】　　小学校に勤めていましたので、発言させていただきます。小学校にも図書室はあるんですけれども、公的な図書館よりも予算は本当に少ないですし、蔵書数も少ないです。ですから、各クラスに配ってしまうと本当にないんですね。でも、やはり子供たちに読書に親しんでもらいたいということで、ずっともう何年間も小金井の学校では教室に図書の本を置いて、すぐに読めるように、少し空き時間に読めるようにと、そういうふうにして未来の図書を活用する市民を育てるみたいな、そういうサービスとして図書館

から本を借りてきているんですね。それを親がやっていたり、PTAがやっていたり、色々な学校のシステムで違うんですけども、積極的にそういうふうに行っている学校もあるし、そういうクラスもあるし、そうではなくて、うちのクラスはそういうことはやりません、という親もいるので、やはり図書館が全クラス分用意して「はい、皆さん、持っていきなさい」と言うと、またそこにいろいろなトラブルも起こるのではないかと思います。

ですから、今回のように何セットか用意して、活用したいところは活用ください、あとご自分で棚からプラスして持っていてもいいですみたいな、そういう柔軟な取り扱い方はとてもいいのではないかと思います。そういうことをやっていると、また利用していないところも、じゃあ来年から利用しようかしらみたいなふうに広がっていくことが望ましいかなと思いますので、ぜひ、予算化されたことはとても私は歓迎しております。よろしく願いいたします。

【中里委員】 全くそのシステムを知らなかったです。

【鴨下委員】 そうですよ。

【中里委員】 失礼しました。

【鴨下委員】 その陳情のことなんですが、陳情が採択されたということは…。

【菊池館長】 不採択です。

【鴨下委員】 あ、不採択？ 不採択されちゃった。すみません。

【石田委員】 陳情は受けただけでしょう。

【鴨下委員】 聞き間違えました。

【石田委員】 受けただけですよ、陳情。陳情は受ければ、それに対する結果の発表はない訳ですよ。受けたということで。

【鴨下委員】 でも、不採択されちゃったのでしょうか。

【菊池館長】 委員会がいくつかありますので、どの委員会にかけて協議していくかというのがまず決められます。それが付託されたのが、庁舎及び福社会館建設等調査特別委員会におろされたので、図書館の陳情なので、委員会が開かれるときには行っていました。その中で、庁舎に関する陳情がいくつか出ていましたけど、その中の1つとしてこの陳情があって、協議されて、委員会で不採択となり、本会議で不採択といった結果になっています。

【鴨下委員】 不採択されたということは、その本館の計画の中にはもう図書館というのは入らなくなってしまったということになる訳ですか。

【菊池館長】 あそこの蛇の目跡地の話ですね。

【鴨下委員】 はい。

【菊池館長】 あそこは今、庁舎と新福祉会館で話が進んでいます。

【鴨下委員】 わかりました。

【水谷委員】 すみません。また戻って申し訳ないです。貸出パックの話ですが、今まで積極的に活用されていた学校というのは、PTAだったり、東小の場合は別にボランティアさんがいらっしゃって活用できていたところなので、むしろ活用していなかった学校に、こういう便利なものができましたのでというふうに積極的に働きかけて、図書館のほうから貸し出しを進めていくようなふうにしていただけるとありがたいと思います。今までそういうのに触れたことがない学校さん・学級さんという要望です。

先程の42億の坂野委員のお話は、今ネットで調べたところ、市長が昔というか、選挙公約として出されていた金額が42億だったが、その後どうなったのだという文脈でお話をされていたので、小金井市としてその予算で建てるとか、そういうことを言ったという訳ではないと思います。

【坂野委員】 私もそれを補足しようと思ったのですが、これは第4回定例会のときに吹春さんがおっしゃっているのですが、第4回のときの報告についてというのは、この場で聞いていなかったような感じがするんですね。というのは、前回会合は視察に行ってしまったので。その『市議会だより』は2月19日に発行されていますが、吹春さんの部分をそのまま読みますと「図書館建設費は約42億円と試算され、公約と総額がかなり違うが」ということで、公約は違う額です。市長の公約は42億円でなく多分もっと小さい金額だと思いますね。それで吹春さんがおっしゃる「図書館建設費は42億と試算され」という発言が市議会に出ているんですね。これの試算根拠は一体何だろうかというのが私の疑問です。

【水谷委員】 その後に、平均的な、延べ床面積に掛け合わせた金額がその金額ですというふうに…。

【坂野委員】 だから、それを知りたいんですよ。

【水谷委員】 いや、と書いてありますよね。

【坂野委員】 『市議会だより』を私は見えていますので。

【水谷委員】 ええ。市議会だよりにそういうふう書いてあります。市長の答弁の後段に。

【坂野委員】 いや、これは違うんです。この市長の回答は公約当時の平均的な建設単価での算出ですから、吹春さんの言う42億円の根拠を答えていません。知りたいのは、その42億円について何か根拠があるのかです。以前渡辺議員さんが3,000平米でこうだとおっしゃるのは覚えています。背景や根拠が全然わからなくて議員さんが出すはずないですから、今回も市議会でもっと詳しい話があって、この協議会の場でそれを聞けるんだろうなと思っていたのが聞けなかったのが、質問した次第です。どこで誰がどのように検討しているのだろうかと不可解です。多分市長の公約の金額は少なかったんでしょう。それをはるかに上回る試算になったんで追及されているんだと思いますけど、その根拠が全然わからないし、そういう金額の話がどこで一体進んでいるんだろうかという疑問ですね。

【菊池館長】 図書館としてはそういう金額をお示ししたことはありません。

【坂野委員】 ないんですね。

【菊池館長】 はい。わかりかねます。

【坂野委員】 議事録がもうすぐ出てくるかと思うんで、それを見ればもっと詳しくわかるのだと思いますが、関心を持っていないと、何か議員さんのほうで議論が先に進んでしまうと、図書館側の動きは一体何だろうなというふうになってしまいますし、この間の答申も何だったんだろうなという話になりますので、気にはなっておりますということを申し上げたいと思います。

【水谷委員】 いいですか、別のテーマに移っても。この話はこれ以上深まらないと思うので。

今ご報告いただいたものが、増になっている予算のものということでご報告いただいているんですけども、逆に予算減になったようなものはないんでしょうか。

【菊池館長】 基本、減になったものは、今年やっています工事費、階段室の工事費ですとか、図書館サービスの関係で減になったものはないですね。

【碓井庶務係長】 単年度予算ではないですね。工事ですとか、委託ですとか、委託でも恒常的にやっているものは今年度ほぼ同様の額がついていますけれども、そうではない、もう単年度の事業として行っている委託ですとか、そういったものは当然、その事業が終了すれば予算自体なくなりますので、減という形になっております。

【水谷委員】 あと、もう1点、前回、前々回ぐらいか、アンケートをとる対象についてお願いをしたことがあるんですけども、今まで来館者の方にしかアンケートをとって

いなかったということで、できれば今までアクセスしていなかった方へのアンケート等も検討してほしいという願いはしたのですが、そういうものはまだ次の年度では特に検討項目としては入っていないのでしょうか。事業の内容として。

【菊池館長】 アンケートをとって、それをどう生かしていくかというところもあるんですけども、今のところは新年度予算には上げてはいないです。

また来年度、委託館評価をするときに、来館者アンケートを貫井北と東でやっているときに、アンケートであれば本館等でも置いてみてやることはできるのかなということはありませんが、今のところまだそこまでです。いずれ中長期を作っていく段階になってくれば、やはり本腰を入れてアンケート、来館者ではなくて、全市的なアンケートというのは必要になってくるのかなとは思っていますけども、まだ中々具体的にはなっていません。

【水谷委員】 今、中長期とおっしゃったのは、市の全体の中長期計画の…。

【菊池館長】 いえ、図書館の。

【水谷委員】 図書館ですか。

【菊池館長】 図書館です。

【田中会長】 それでは、報告事項の（１）（２）を終えまして、（３）ＪＲ武蔵小金井駅周辺の図書返却ポストの移設について、事務局からご説明をお願いします。

【碓井庶務係長】 それでは、今年度実施いたしましたＪＲ武蔵小金井駅周辺の図書返却ポストの移設について、お手元の資料に基づいてご説明させていただきます。

ＪＲ武蔵小金井駅周辺の図書返却ポストにつきましては、南口側、松屋があるところに設置されていたポストの経年劣化が著しく、入れ替えが急務であり、また、北口側のポスト、駅前のおにぎり屋の向かいにあるのですが、ＪＲ中央線の高架化に伴う駅前再整備等によりまして、設立当初、こちらは平成７年に設立しておりますが、駅前の様子が大きく変化する中で、バス停と横断歩道のそばに位置する形となり、非常に人通りが多い場所にあるため、本を返却するために立ち止まる行為が、朝の通勤ラッシュ時等に人の動線の妨げになることや、また、他者とぶつかる危険性が懸念されていたことから、利用者及び通行者の安全性の確保が以前から大きな課題となっておりました。

今年度、市とＪＲの間で協定が締結されまして、ＪＲさん所有の敷地である武蔵小金井駅西側の高架下の歩道部分について市が管理を行うこととなりまして、一定要件のもとで公共の用に供することが可能となったことから、それらの課題を解決すべく、南口側のポストについては新しいポストと入れ替えの上、高架下南口側、南側部分への新設、北口側

のポストについては高架下北側部分への移設を3月19日に行わせていただきました。

詳しい場所につきましては、お手元の資料をご覧ください。

【田中会長】 ありがとうございます。何かご質問等ありましたら。どうぞ。

【坂野委員】 実際に行ってみて、非常に便利になって、どっちに入れようかと迷うぐらいです。前回たしかお話を伺った時に、北側のポストが一杯になることもあるので移設したということであったかと思うんですが北側だけでもいいですから、10メートル先にもう1つありますよ、というのを掲示しませんか。本当は横に並べてくれれば一番いいですがだめだと前回おっしゃったので、せめて10メートル歩いたらそこにもありますというふうに書いてほしいですね。ただ、利用状況からいくと、南側ポストに入れてほしいということですよ。北側は一杯になってしまって手を入れたら中の本が取れるという状況らしいですから。そこはぜひ手当てをお願いしたいなと思います。

【菊池館長】 状況を見ながら、必要があれば書いていこうかなと思いますけども、色々あってあの場所に設置することがようやくできた形です。今まで少し離れていたもので、北口のポストがあふれると、市民の方からご連絡いただいたりすることもあったんですけども、そばになったので、とりあえずあれで大丈夫かなとは思っています。

【坂野委員】 だから、一杯になるのがわかっていれば、これはあらかじめ書いたほうがいいと思いますよ。本当に10メートルですから。手にとって中の物をとれるというのは郵便ポストでもある訳で、それは非常に危険な状況だと思いますので。

【菊池館長】 今回移設するに当たって、本当は新しいところに立ててから撤去したかったんですが、撤去が先になってしまったので、少しポストがない期間があって、心配したんですけども、お問い合わせもあまりなく、皆さんきちんとそれぞれの移ったポストに入れてくださったので、ポストの場所は大分定着をしているんだなということもありますので、当面様子を見させていただいて、また何か問題があれば対処していきたいと思えます。

【水谷委員】 いただいている資料の3月19日火曜日のところの、「武蔵小金井駅西側の高架下部分」と書いてあるんですけども、西側に新しくできたんだと思って非常に喜んでいたんですが、これは間違いで東側ということですか。

【石田委員】 今、おっしゃったのも西側とおっしゃったので、西ではないなと思って見ていたんですが。

【碓井庶務係長】 申し訳ございません。勘違いでございます。東側でございます。大

変更申し訳ございませんでした。訂正させていただきます。

【水谷委員】 ということは、西側のnonowa口のほうには引き続きないということですね。

【碓井庶務係長】 そうです。

【水谷委員】 今後はぜひ検討していただきたいと思います。

【石田委員】 nonowa口にあると、またいいと思います。

【田中会長】 続きまして、(4) 図書館本館階段室工事についてです。お願いします。

【碓井庶務係長】 今年度実施いたしました図書館本館階段室工事につきまして、口頭にてご報告させていただきます。

図書館本館階段室工事につきましては、平成31年1月28日から平成31年3月20日の期間で実施し、著しい経年劣化及びそれに伴う一部剥落を起こしていた階段室の床材、壁材、天井材の張り替え工事を行いました。

工事期間中、階段室につきましては工事関係者以外立入禁止とさせていただき、館内掲示にて利用者の皆様に工事について周知の上、2階及び地階をご利用の皆様にはエレベーターの利用をお願いいたしました。

工事期間及び作業工程については、事前に庁内の建築担当部署と調整を行い、騒音が発生する作業につきましては工事期間中に行いました蔵書点検の期間を活用し、においの発生する作業につきましては、工事期間中の休館日を活用しました。

以上の結果、工事に伴う臨時休館措置は行わずに、無事工事を終了することができ、工事期間中の利用者の皆様からの工事に関する苦情等も、大きなものは特になく終えることができました。

【田中会長】 ありがとうございました。何かご質問等ございますでしょうか。

【坂野委員】 手すりを付けてなかったですね。手すりを付けないままで工事は終わったということですね。

【碓井庶務係長】 右側に付いています。

【坂野委員】 わかりました。

【田中会長】 続いて(5) 蔵書点検について、お願いいたします。

【岡本奉仕係長】 蔵書点検について口頭でご報告をさせていただきます。ただいま階段室工事について説明があったとおり、今年の本館と西之台会館図書室の蔵書点検については、階段室の工事の初期、階段室のタイルを剥がす際に開館できないぐらいの騒音が発

生するという事だったので、そこに蔵書点検を合わせる形で実施をいたしました。

本館、西之台会館図書室については1月30日から2月4日まで行いました。東分室は2月11日から2月14日、緑分室と貫井北分室は2月12日から2月15日まで蔵書点検を実施いたしました。今年度については、本館、西之台会館図書室は昨年度エアコン工事の関係で蔵書点検を実施できておりませんので、2年ぶりの実施となりました。

各館の不明図書冊数についてですが、本館は533冊、西之台は4冊、東分室が55冊、緑分室が114冊、貫井北分室は181冊となっております、不明率は0.18%です。本館は2年ぶりだったので、数が少し例年より多かったんですが、その他の館については、例年並みというのもおかしな話ですけれども、不明率的には横ばい状態となっております。

【坂野委員】 不明本についてもう一度お聞きするんですが、不明です、で終わって、それだけでしたっけ。当然借りている人はわかる場合もあると思うんですけど、どのような手を打ってどのような対策をされているのか、お聞きしたいと思います。

【岡本奉仕係長】 不明本というのは、借りている人がわからない本になります。借りている人がわかるのは、もちろんこちらから督促は行うのですが、貸出処理をしないで持ち出してそのまま、というケースですね。

【坂野委員】 イコール窃盗、盗まれたということじゃないのですか。盗まれたということについては、それでどうされているのですか。

【岡本奉仕係長】 手の打ちようがないですね。

【坂野委員】 警察にも報告しない？

【石田委員】 しないですよ、それは。

【坂野委員】 大体安っぽいものは盗まない訳で、高価なものを盗むから困る訳ですよ。前に申し上げたけれども、古本屋で買ったなら定価の3倍ぐらいする本が平気で開架に並んでいるんですよ。それは盗む人はいると思いますね。今の不明冊数の合計を出すと1,000冊もいかないぐらいですけども、平均2,000円ぐらいで買っていますから、総額で200万円のものが盗まれましたとなるものの、何も対処しませんというのは、それはそれで凄いなという気がするんです。毎年ですからね。

【石田委員】 リーチを持ち出すとブザーが鳴る、あのシステム…。

【坂野委員】 そうですよ。石田さんがおっしゃるように、ほかのところはブザーがあるんです。実際にブザーが鳴るのを私も五、六回は最低聞きましたよ、色んな図書館で。

ということは、そういう人はいる訳ですよ。仮に年200万円とすると何もしないでいて続くと10年で2,000万の被害ですよ。これでいいんだろうかなど。皆さん、どう思われます？

【鴨下委員】 とうか、どうしたらいいかということ。もし考えるならね。

【坂野委員】 どうしたらいいか。それはもちろん皆さんで考える訳ですね。私は私の意見がありますけども、これ、あなた、どうしますかという問題ではないと思うんですよ。市の財産が200万なくなったんですよ。家の前に置いてある200万円の自動車を盗まれましたが、何もしませんということは普通ないと思うんですね。

先に言ってしまいますと、ほかの図書館はどうしているかですよ。何もしていませんといたら、全国でおそらく億単位で毎年本が消えているでしょうね。そんなのをほったらかしにしているんだろうか。全ての公立図書館3,000が全て何もしないなのか。いや、こうやっていますというところがあれば、それは、そういう情報を交換して対応すべきじゃないかと思うんですけど、どうされているんでしょうか。今のご回答ですと、どこも何もしていません、ということでしょうか。

【岡本奉仕係長】 蔵書点検で発見される不明本についても、有効な手としての1つは、やはりICタグだと思うんですね。ICタグを1冊1冊の本につけると、入り口のゲートで貸出処理が終わっていないものはブザーが鳴るということになりますので、ここも含めた上でICタグを入れたいのですけれども、予算がつかない状態が続いて…。

【坂野委員】 予算の問題はいいですけど、そのなくなったものを見つける時にどうするかということなんですけどね。何もしないという状況をどうみるか。

【岡本奉仕係長】 蔵書点検の時にこの不明本が出ています。ただ、これはあくまでもこの時点なんです。この後にいつの間にか書架に戻される本とかもあるんです。なくなったきりという訳でもなくて、勝手に持ち出して勝手に返す人も非常に多いです。

それと、他市の図書館のブックポストに返してしまうとか。そういう連絡もしよっっちゃう来ますので、なくなったきりという本だけじゃないというのも、ご認識いただければなと。

【坂野委員】 それもわかっているんですが、私の問題は、繰り返しますけども、1,000冊のうち、そのうち例えば3割、300冊があり、700冊はなくなる訳ですよ。こちらをどうしますかというのを問題にしている訳ですよ。色々な図書館との情報交換で何か考えていただければということです。小金井はもちろん少ないほうだと思いますよ。

貴重な本をたくさん置いてあるところはもっと盗まれていると思いますので、そういうところを参考にして何か手を打っていただければと思います。ICタグに頼る以外にも何か方法はあるだろうという気はします。

【中里委員】　　せめて貴重な本だけでも何か方法がとれば。

【石田委員】　　今おっしゃったように、貴重な本だけでもICタグの導入ということを予算化して申請をしていくことがいいと思うんです。

それから、先日私が借りましたら、本の中が汚れていたんですね。コーヒーか何かこぼしたみたいな感じで。それで、私、借りる時にそれは言われなかったんですよ、ここが汚れていますよということ。結局、返却された時点で、何となくピツとしていた本の中が、ちょっとページがゆがんでいけばわかると思うんですが、そういう汚れた場合は借りた本人に何も言わないんですか。

【岡本奉仕係長】　　返却時ですけれども、汚れがわかる場合は、その本については返却処理をせずに、利用者の方に「この本のここが汚れているんですけれども、何かご記憶はございますか」というお問い合わせはさせていただいています。本人に覚えがある場合は、同じ本を買って返していただくという形になります。

ただ、返却時に見逃して配架をしてしまうと、申し訳ないのですけれども、石田委員が借りた本みたいに汚れている、本に何も「汚れあり」と書いていないという形になってしまうので、そこは…。

【石田委員】　　私、メモ用紙を挟んで、汚れておりましたよと書いて返したんですよ。

【岡本奉仕係長】　　ありがとうございます。より注意をしていくようにいたします。

【田中会長】　　よろしいでしょうか。それでは、続きましては、その他ということなんですけれども、報告事項のその他、何かございますでしょうか。

【菊池館長】　　すいません。先程少し漏れてしまいまして申し訳なかったです。(2)の平成31年度予算ということで、予算概要を見ていただいたのですが、2(2)の図書館維持管理に要する経費について私、一切説明を申し上げなくて、申し訳ありませんでした。

図書館維持管理に要する経費というのが、図書館の外壁等改修工事ということで、4,662万円ということで、今年度に図書館の外壁の劣化状況を確認する調査を行っています。そのときに、外壁ですとか、屋上の防水シートのところも早急に改修工事をしなくてはいけないということで、その分の予算を平成31年度に計上させていただいたというこ

とのご説明が抜けておりました。申し訳ございませんでした。

【田中会長】 では、その他もなさそうですので、3のその他、平成31年度図書館協議会の年間予定についてということで、お願いいたします。

【碓井庶務係長】 平成31年度小金井市図書館協議会年間予定、こちらは来年度の年間予定というふうにお考えください。こちらにつきましてご説明をさせていただきます。

今年度とほぼ開催時期自体は変わらない予定でございます。あくまでもこれは予定ですので、実際には委員の皆様のスケジュール等をまた直前にメールでお伺いさせていただきます。事務局で日程調整させていただきますが、現時点での予定といたしましては、第1回の協議会と三者懇談会を5月頃、そして第2回協議会、委託館評価を8月頃、11月ごろに第3回協議会と三者合同会議、そして、1月ごろに視察として第4回協議会、そして3月頃に第5回協議会というふう開催を予定してございます。

なお、平成31年度につきましては、年度途中で委員の皆様の、今年の10月31日をもちまして、第15期の協議会の委員、皆様の任期が一旦終了いたします。そして、11月1日から第16期の協議会の委員の方の任期が開始になりますので、現時点での予定ですと、あとは皆様に協議会でご議論いただく場は2回という形になります。よろしくお願いたします。

【菊池館長】 5月に第1回協議会を予定してまして、この時に三者懇談会、今年度は図書館が事務局でしたけど、来年度は生涯学習課が事務局になると思いますので、そこらは大体5月ごろかなというふうな、今のところ予定をしているそうですが、また日程が決まり次第、ご連絡をさせていただきたいと思います。

【石田委員】 すみません、その件で、多分5月13日の月曜日ではないでしょうか。その連絡はないですか。

【菊池館長】 まだないです。

【石田委員】 そうですか。ではこれ、まだ決定じゃないのかもしれませんが。5月13日というような感じで。

【水谷委員】 質問です。次の委員の公募がかかるのはいつ頃の時期になりますか。

【碓井庶務係長】 例年、委員の皆様の任期が切り替わるときの公募につきましては、6月頃に公民館の公民館運営審議会と生涯学習課の社会教育委員の会議と合同で公募を行わせていただいております。

【水谷委員】 確か4月1日付の市報に載っていたような気がします。

【鴨下委員】 何か5回しかない委員会の中で、2回が三者懇談会で、1回が委託館評価で、図書館協議委員というのはここで何を討議できるのでしょうか。少し回数を増やすとか、どこかを1つ減らすとか、何か考えたほうがいいのではないかと私は思いますが、いかがでしょうか。

【菊池館長】 例年、今まで3回分の予算措置だったのですが、今年度が5回で、来年度も5回ということで、5回が定着してきたかなというところです。また協議内容に重みのあるものですとかあった場合には、大変申し訳ないのですが、協議回数が増えていくかとは思いますが、一応年間としては5回というところで押さえていただければと思います。

【坂野委員】 今の鴨下さんの意見ですけども、ほかの委員会とか協議会を見ますと、ボランティアで集まっていますので。

【鴨下委員】 ボランティアでやっているのですか。

【坂野委員】 いや、委員が各自の意思で集まってやっていますね、実際。

【鴨下委員】 でも、それはおかしいですよ。

【坂野委員】 いや、おかしいというか、それはそういうものだと思いますけど。我々、報酬をもらって仕事で協議会委員をやっているんですけども、普通の会社でも勤務時間以外何もしないかというところではなく、何か関連の仕事をやっている。ほかの委員会、かなり大きな委員会、重要な委員会でも、時間外での議論をやっていますよね。

【石田委員】 社会教育委員の会議は年10回の予定です。その会議に対する小委員会というものもあります。そして、放課後子どもプラン運営委員会は年6回だと思います。それは準公務員としての報酬のつく委員会ですね、小金井市の。私の知っている範囲内ですけど。

先程言った三者懇談の予定日として5月27日と13日が上がっていました。決定はされていないと思います。すいません。

【菊池館長】 ありがとうございます。

【石田委員】 両方月曜日が候補日で上がっていました。これ、決定ではないです。ごめんなさい。余計なことを言いました。

【田中会長】 スケジュールに関しては、3回というのが定例になっていて、それが今回5回ぐらいにまで回数が増えているということで、また機関によってはボランティアで小委員会みたいなのを開いたり、勉強会みたいなことを過去にはしていたこともあろうかと思えます。ただ、ボランティアでやるということを前提に会議が進むというのは、ちょ

つと会の質とは違うと思いますので、その辺はやはり、次の会からかもしれないですが、良く考えていただいて、やっていただければいいかなと思います。

何せ、最初3回とか4回しかなくて何を話すんだというのは本当にあると思いますので。少し中身を考えながらやらなくては、また時代も変わってきたからこういうふうにならなってきたとは思いますが、その中で委託館の評価とか、そういうものも含まれてきたので、このあり方自体、もう少し検討していかなくてはいけないのかなとは思いますが。

用意した議題は以上ですけれども、何か皆様のほうからございますでしょうか。

【鴨下委員】 学校図書館に入っている業者が変わったというようなことを聞いたんですけども、どのような経過で、どういうふうに変ったのかを教えてくださいたいですが。

【菊池館長】 今年度から業者が変わったという話は聞いているんですけども、私どもの所管ではないので、ちょっとその経過まではわからないところです。

【鴨下委員】 それは教育委員会の…。

【菊池館長】 教育委員会の指導室だと思います。

【鴨下委員】 指導室ですか。図書館は関係ないのですか。

【菊池館長】 そうです。

【鴨下委員】 わかりました。

【菊池館長】 今まで学校図書館の、学校の先生方とはあったんですけども、図書館の現場にいらっしゃる方と図書館とあまり接点がなかったこともあって、今年度12月に初めて学校図書館の現場の方との意見交換会というのを持たせていただきました。図書館とはそういう関係ではいるのですが、どういった経過で業者さんが変わっていくとか、週何回配置されているとかいうところに、図書館が関与するのは中々難しいといったところではあります。

【鴨下委員】 先程の分館を学校のために用意するとか、そういう積極的な学校に対する働きかけを図書館としてやっているのは、とても私は評価できることだと思っていますが、やはり部署が違うからといって、全くそういう情報がないというのも、そういう意味からいくと、とても片手落ちかなと思いますね。

実際に私が聞いているところでは、今回、学校図書館に入った業者が、図書館のことは本当に良くわからない業者が入ったというようなことで、学校の先生達もとても忙しくなっているし、本もたくさん出版されている中で、どういうふうに学校図書館というのを作

っていくのかということで、そういう未経験な業者が入ることで学校図書館がまた混乱するのではないかと思うのですね。そういうところにやっぱり専門的な知識を持っている公共図書館等が手を貸していくとか、そういうことがやはり小金井全体の図書館の活動を活発にしていく上でとても大事なことだと思います。子ども達が図書館を利用しながら大きくなっていくことによって、公共の図書館も活発に活用されるようになりますし、ぜひその辺の連携を、今、全然知らないということを知って少しびっくりしたのですが、どうか連携をとれないかなというのが私の願いです。

ここでお話することではないのかもしれませんが、小耳に挟んで、とても心配しておりますので、発言させていただきました。

【水谷委員】 今おっしゃった業者というのは、運営を委託されている司書というか、その業者のことですか。納品、納本ではなくて。

【鴨下委員】 多分その司書を送り込んでいる業者だと思います。納本は多分学校独自だと思いますけど、今、それはもう1つのところに大体決まっているのではないかと思いますけどね。よろしく願いいたします。

【田中会長】 そのほか、何かございますでしょうか。

(科学の祭典について)

【田中会長】 そういう形でやっていきたいなと思いますけど、よろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

【田中会長】 では、そういうことで。あと、何かありませんか。

【菊池館長】 4月からまた栗栖が戻ってまいりますので、よろしく願いいたします。以上です。

【田中会長】 では、以上をもちまして、時間がたちましたけど、会を閉じさせていただきます。お疲れ様でした。ありがとうございました。

— 了 —